



コアルール

エラッタ 1.3

この文書はルールに修正を加えるためのものである。このエラッタで修正された文章については青色で強調されている。この文書は定期的に改訂が加えられるため、バージョン番号が割り振られている。「1.1a」など、バージョン番号の後にアルファベットが書かれている場合、その文書にはその言語独自の修正が含まれている。これは翻訳の過程で発生した問題点を修正するためのものである。この文書が更新された場合、バージョン番号が増えるとともに、新たに更新された箇所についてはページ番号の前にアスタリスク (*) が記載される。

コアブック

70 ページ、射線、遮蔽

第二項目を以下のように変更する：

予定対象が「遮蔽線が遮蔽特殊地形もしくは他の特務兵のベースに接触した地点」の▲以内にいる（他の特務兵自身がアクティヴな特務兵の射線から射線が通っていない場合は除く）。

72 ページ、地形特性

以下の特性を追加する：

“登攀可能：この特性は 2 ○より高い高さの特殊地形に適用される。登攀可能：特務兵がこの特殊地形に登攀する際は、最後に残った○以下の単位距離は、○に切り上げられるのではなく、無視される。”

*72 ページ、狙撃地点

各項目を以下のように変更する：

- “その特務兵は狙撃地点の床によって射線妨害状態になることはできない。
- その特務兵は、その狙撃地点が属する特殊地形のパーツのうち、その特務兵よりも低い高度に位置しているパーツによって射線妨害状態になることはできない。”

75 ページ、飛び降り

第一段落を以下のように変更する：

飛び降りは、特務兵が登攀することなく高所から降りるために行う。その際、特務兵は飛び降り元となる特殊地形の足場端の▲以内にいる必要があり、落下予定地点は元の足場から垂直方向に 3 ○以内の距離でなければならない。そうであれば、特務兵はその特殊地形から飛び降りることができる。その際は垂直方向の移動距離が合計移動距離にカウントされる。垂直方向の単位距離は○単位で測られる（端数切り下げ）。なお、○未満の垂直方向の単位距離は無視される。特務兵は意図する目的地に到達するために、飛び降りの途中で『ダッシュ』アクションを実行することができる。”

142 ページ、『ブラスト X』

のスペシャルルールを以下のように変更する：味方特務兵がこの武器（あるいはこの武器能力値）を選択して『射撃』アクションを行う場合、対象に対する射撃攻撃を解決した後で、当初の攻撃対象の x 以内におり、なおかつ当

初の攻撃対象から視認可能である他の各特務兵に対して（同一の武器能力値を使用して）それぞれ射撃攻撃を行なうこと。各攻撃対象は攻撃対象として選択可能であり、なおかつ遮蔽無効として扱われる。X はその武器の『ブラスト』の値に依存する（例：ブラスト○）。特務兵は『警戒射撃』アクションの実行によってこの武器での射撃攻撃を行うことはできない。

(J)63 ページ、ダッシュ

第三段落を以下のように変更する：

“ロールした防御ダイスのうち、ロール結果がその特務兵の【アーマーセーブ値】以上であったダイスはセーブに成功したものとみなされ、その場に保持される”

(J)64 ページ、防御ダイスのロール

末尾に以下の文章を追加する：

“さらに、特務兵が『突撃』アクションを実行していた場合、その命令中にその特務兵は『ダッシュ』アクションを行えない”

(J)142 ページ – 貫通 x

ルール文を以下のように変更する：

“貫通 x：味方特務兵がこの武器を使用して射撃攻撃を行う際、その射撃攻撃において攻撃対象の【防御回数】は -x の修正を受ける（x は『貫通 1』など「貫通」の後ろに記載されている数字を指す）。”

(J)142 ページ – 猛撃

ルール名を『猛攻』に変更する。

ミッションパック

『秘密作戦:オクタリウス戦役』ミッションパック

93 ページ、ミッション 3.3、防衛線突破、特殊任務キャンペーン、戦術目標ボーナス

ルール文を以下のように変更する：

“自軍がこのバトル中の『警備』もしくは『潜入』の戦術目標において 3 点以上の勝利ポイントを獲得していた場合、自軍は補給ポイントを追加で 1 点獲得する”